

(株)SRAホールディングス 代表取締役社長の鹿島です。

本日、平成31年3月期 第2四半期決算を発表しました。

また、特別損失の計上に伴い、第2四半期累計業績予想の修正も発表しました。

<発表資料> <https://www.sra-hd.co.jp/Portals/0/ir/others/20181108.pdf>

今回の発表の要点は下記のとおりです。詳細は、発表資料をご覧ください。

なお、「決算付属資料」、「平成30年10月 月次売上高速報」も併せて発表しました。

[平成31年3月期 第2四半期業績(連結) 前年同期比]

■売上高=横ばい

■収益=「粗利益」、「経常利益」が増益。「営業利益」、「四半期純利益」が減益

◎売上高:199億59百万円(0.2%減)

- ・開発事業(5.3%増):製造業および金融向けが増加
- ・運用・構築事業(3.3%増):企業向け、大学向けがいずれも増加
- ・販売事業(8.6%減):(株)AITおよび(株)SRAの機器販売が減少

◎粗利益:42億94百万円(5.9%増)

◎営業利益:17億27百万円(2.3%減) 営業利益率:8.7%(前年同期8.8%)

主な要因:販売管理費の増加

◎経常利益:21億39百万円(23.2%増) 経常利益率:10.7%(前年同期8.7%)

主な要因:為替の影響等

◎四半期純利益:8億51百万円(26.2%減)

主な要因:特別損失の計上等・・・キャッシュアウトを伴わない一過性の評価損

<発表資料> <https://www.sra-hd.co.jp/ir>

[平成30年10月 月次売上高]

(株)SRA=堅調に進捗

(株)AIT=10月次は堅調に進捗。引き続き、受注活動を強力に推進中

国内子会社=堅調に進捗

海外子会社=堅調に進捗

<発表資料> https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2018.html

2018年度 第2四半期において、売上高が横ばいとなり、粗利益は増益となったものの、販売管理費の増加により、営業利益が減益となりました。経常利益は、為替の影響等により増益となりました。

また、本日、情報開示させていただきました通り、Proxim Wireless Corporation(本社:米国)のビジネス拡充に向け、財務体質の強化を図るべく連結子会社とし、特別損失として評価損を計上した結果、四半期純利益が減益となりました。

今後、Proximは、SRAグループのもとで、新たなビジネスモデルを推進すると共に、Kingnet(本社:中国、当社持分法適用会社)との協業により、ビジネスシナジーの拡大を図ってまいります。

SRAグループは、継続してProximの支援を行い、Kingnet、Risecommのエンタープライズバリューも上げることで、投資資金の回収ならびにProximの業績回復を図ってまいります。

2018年度計画達成に向け、SRAグループは一丸となり、努力邁進しております。

皆様には引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。